

「キャリアデザインの現状」

澁谷俊彦 (山陽学園短期大学 教授)

1. ビジネスとは、キャリアデザインとは、

1) business、ビジネス

business

- n. 1. a. やるべき仕事、職務、努め、本分
 - b. 事務、業務、仕事、執務、営業、職業、家業
 - 2. a. 商売、商業、事業、実業、取引、売買
 - 3. 用務、用事、用件、議事日程
 - 4. 事柄、事件、成り行き
- (研究社 リーダーズ英和辞典 より)

ビジネス

事務、実務、実業、商業上の取引、
ビジネスマン
実業家、一般に事務系の会社員。
(岩波書店 広辞苑 より)

2) career

- n. 1. a. 経歴、生涯 b. 身を立てる、職業、出世 c. 専門教育を受けた、生涯の仕事としての職業にある、生涯(通算)の、
 - 2. a. 経路 b. 早い前進運動、疾走、驀進
- vi. vt. 疾走する。疾走させる。暴走する。
(研究社 リーダーズ英和辞典 より)

渡辺三枝子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

「キャリア」という英語は、元々は道路や競馬場のコースを意味するフランス語から発しており、動詞としては「疾走する」であり、同義語としては、「前進」「進行」「轍」などがあり、それらの言葉から、「キャリア」という言葉には、時間的経過と流れと、前や後、横に「進む」動きとかが含まれていることが明らかである。

{ 横浜市HP <http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/kinshi/kinyoko/k0406t2.pdf> より }

3) design

- n. 1. a. デザイン、意匠、図案、下絵、素描、設計図、模様、ひな型 b. 芸術作品
 - 2. a. 設計、構想、腹案、着想、計画、企画、目的、意図
- vi. デザインする、設計する、図案を作る、進む計画を有する(～を志望している。)
- career woman 働く女性
career man 職業人、本職の外交官
careers master (中等学校の)職業指導教師 進路指導教師
Careers Officer (生徒などに対して職業指導を行うよう正式に要請された)職業指導教官
(研究社 リーダーズ英和辞典 より)

2. 大学では、学生は、

1) 研究では、教育では、

(1) career design の定義、キャリアデザインの定義

D. ホールの定義

キャリアとは、あるひとの生涯にわたる期間における、仕事関連の諸経験や諸活動と結びついた、態度や行動における個人的に知覚された連続。

D. フェルドマンの定義

諸個人が仕事生活の全体を通じて担う、職務の連続をキャリアと呼ぶ。

金井壽宏（かないとしひる / 神戸大学大学院経営学研究科教授）による定義

長い目で見た仕事生活のパターン

成人になってフルタイムで働き始めて以降、生活ないし人生全体を基盤にして繰り広げられる、長期的な（通常は何十年にも及ぶ）仕事生活における具体的な職務・職種・職能での諸経験の連続と、（大きな）節目での選択が生み出していく階層的意味づけ（とりわけ、一見すると連続性が低い経験と経験の間の意味づけや統合）と、将来構想・展望のパターン。

（働く人のためのキャリア・デザイン PHP新書 より）

(2) 神戸大学大学院経営学研究科教授 金井壽宏

労働市場の流動化が進んでいるとはいえ、長期間、働く可能性のある就職先を選ぶ際、イメージだけでなく、自分でしっかりとキャリアデザインをすることが大切です。キャリアデザインとは、実際は「節目のデザイン」なのですが、就職するということはまさに、節目づくりそのものですからね。

{共同企画HP <http://www.kyodokikaku.co.jp/service/rip/interview.html#pagetop> より}

(3) 専修大学経営学部教授 廣石忠司 経営学特殊講義 - キャリアデザイン - より

キャリアを定義すると・・・、要するに仕事生活をどう生きていくのか、という道筋といってよい。

{専修大学HP http://www.senshu-u.ac.jp/School/keiei/syllabus/a_086.html より}

(4) 法政大学キャリアデザイン学部

「キャリア」とは、資格や経験だけを意味するのではなく、仕事、家族、友立ち、コミュニティなど、社会的活動や組織の一員として、自分の能力を発揮し、自分自身の人生を生きていく「自分らしい生き方」をいみます。そして「自分らしい生き方」をするために、どのような知識、技術を身につけたらよいかを考え、実践することが「キャリアデザインなのです。」

{法政大学HP <http://www.hosei.ac.jp/career/> より}

……本コース・講座、7月2日1時限「キャリアデザインとは」笹川孝一（法政大学キャリアデザイン学部長）

(5) 山陽学園短期大学

キャリアデザインとは、自分の個性や能力が発揮できるように、自分の生き方を考えていくこと。

{山陽学園大学・山陽学園短期大学HP http://www.sguc.ac.jp/gakka/gakka_d.html より}

2) 学生は、

(1) 広島大学キャリアセンター長

「キャリア」って何でしょうか。従来の理解は「職務経歴」「職業人としての実績」です。しかし、個人の生き方への関心が広い理解が求められています。つまり、職業・家庭・社会といった領域でどのように生きるか、が問われているのです。

{広島大学HP <http://home.hiroshima-u.ac.jp/job/> より}

(2) 京都大学キャリアサポートセンター

キャリアデザインとは、卒業後の職業・能力発揮を含む将来の自分自身の姿を考えることです。

{京都大学キャリアサポートセンターHP <http://www.s-coop.net/> より}

(3) 東京大学大学院新領域創成科学研究科

「学際と融合」を目指す大学院新領域創成科学研究科に所属する学生諸君が、今後の進路選択において、より広いキャリア検討ができるよう、新領域の先輩・後輩・教員を交えた、新領域創成フォーラム「本音で語るキャリアデザイン in 柏キャンパス」を開催します。

本郷からの無料送迎バス利用希望者は事前登録が必要です

{東京大学大学院新領域創成科学研究科HP <http://www.env.k.u-tokyo.ac.jp/ibento/career.html> より}

3. 社会人は

1) 行政は、

(1) 東京都港区 キャリアデザインとは、(中小起業支援)

バブル崩壊や国際化進展の中で雇用環境が大きく変化し、従来の職業意識や生き方ではその環境にうまく対応することができなくなりました。新たな環境の中で、自分の能力、適性、意欲を十分に活かし、豊かなキャリアの発達を図る新しいモデルが必要になってきたのです。「キャリアデザイン」が目指すキャリアとは、終身雇用を前提とした時代にあったような画一的なものを指すではありません。その選択肢は多様で、さらに学校卒業以前から、卒業後の職業生活、そして引退後までと一貫性を持った 職業と職業以外の社会活動のすべてを含めた総合的なキャリアなのです。

キャリアデザインの内容

- (1) 自己分析、能力の棚卸し(知識と技能の見直し・再構築)
- (2) キャリア開発計画と進路の検討
- (3) キャリア開発を達成するための能力開発、自己啓発計画と推進
- (4) 家族・友人との関係の点検と再構築
- (5) 健康管理と体力づくり
- (6) 経済面からの生活設計
- (7) 趣味やボランティアなど生活の質の向上

{東京都港区HP <http://www.minato-ala.net/guide/index.html> より}

(2) 厚生労働省 東京労働局職業安定部

ハローワーク品川を会場に、キャリアデザインという視点から自らの就職活動を戦略的に考えるセミナーを開催します。

{東京労働局HP <http://www.roudoukyoku.go.jp/> より}

(3) 総務省自治行政局公務員部公務員課『ヒント21 研究チーム』 自分のキャリアを自分で決める？

職員のこころの中には、自分のキャリアは自分で決めたいという思いがあるかもしれません。そこで、職員の希望・選択を可能な限り取り入れる仕組みについて考えてみましょう。

職員個人の意欲と組織のパフォーマンスを共に向上させるということを目指す

自己申告や庁内公募などにより職員が自らの意思で希望を申し出る仕組み

現在の職位を希望しない職員に対して希望降任を認める仕組みを考える。

{総務省HP <http://www.soumu.go.jp/c-gyousei/pdf/jinjiseido.pdf> より}

2) 企業は、

(1) 三菱総合研究所マーケティング戦略研究部 主任研究員 小川裕之

「新入社員のキャリアデザインと組織活性化」

社員が達成感を得ていくために自分自身のキャリアをデザインしていく上でのサポート体制を整える。自分自身のキ

キャリアデザインとは、自分で自律的にキャリアプランを描き、形成していくことである。これまでは入社段階(会社の選択)までは自分自身で決定してきたが、入社以降は会社の指示に従って仕事の配分や配置・異動などが行なわれてきた。今後は、同じ社内でも自分が自律的に選択した仕事を希望のポジションで遂行することを、自助努力によって可能たらしめる仕組みの構築・導入が重要である。これもやる気をもめるために重要な要素であり、ここでは、会社側のニーズと個人側のニーズをいかにマッチングしていくのがポイントとなる。

{三菱総合研修所HP <http://www.mri.co.jp/> より}

3) 企業で働いている人は、

(1) リクナビ・ネクスト

キャリアデザインとは過去の経歴を振りかえって自分なりの価値観を明確にし、将来の展望をもつこと。

{リクナビネクストHP <http://rikunabi-next.yahoo.co.jp/qa/01/01/7.html> より}

(2) キャリアVテクノロジー・コーポレーション (外資系企業への転職コンサルタント)

キャリアデザインの必要性

現在のサラリーマンは、企業倒産、リストラ、事業部門閉鎖・売却などの外部要因により……

渡り職人的なキャリアの出現 企業は生き残りの為に得意分野である中核部分だけを残し、……

AT&T では、……Up is Not the Only Way

{キャリアVテクノロジー・コーポレーションHP <http://www.cvitech.com/> より}

4. 子ども達(小学生・中学生・高校生)は、キャリア教育とは、

1) 渡辺三枝子(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

「キャリア教育」を考えるキャリア教育の実践に向けて 2004・6

「キャリア教育」とは？

日本においてキャリア教育という言葉が正式に用いられたのは平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」のなかである。答申を受けてキャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議では「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリア(職業生活を核とした生き方)を形成していくために必要な意欲・態度や能力を発達的に育てる教育」と定義した。

キャリア教育は、1970年代初頭にアメリカで教育改革として始まった運動である。(中略)要するに、学校教育活動全般をとおして、自分の将来の生き方を考えさせ、社会の一員として職業人として自立する力と態度を育てようとする運動であった。特定の職業能力や職業資格を取得させたり、早期に能力や適性を発見して進路方向を決め、英才教育を行うということではない。

キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議で、自立的な社会人・職業人になるために必要な能力として、4能力領域(8つの下位能力)を提示し、小学校段階からこれら4つの能力領域をすべて段階を追って徐々に育成することを、キャリア教育の枠組みとして提案した。その4つの能力領域(8下位能力)とは、

人間関係形成能力

自他の理解能力、コミュニケーション能力領域

情報活用能力

情報収集・探索能力、職業理解能力

将来設計能力

役割把握・認識能力、計画実行能力
意思決定能力
選択能力、課題解決能力 である。

{ 横浜市HP <http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/kinshi/kinyoko/k0406t2.pdf> より }

5. 「ビジネスとキャリアデザイン～働くことと学び続けること」

1) 働くことと、

- (0) キャリアデザイン論
学び続けている人へ、
- (1) 学習
働いている人へ、これから働く人へ、
- (2) 報道
受け取る力と発信できる力
- (3) ボランティア活動
世のため同胞のため
- (4) 商業
日常生活に近いビジネスの現場
- (5) 情報
情報の内容、情報の手段

2) 学び続けること。

働くために。
次の世代に伝えるために。
生涯学習として。